パイ・ル　　先生
白石　陽子　先生

ようこそ 川東保育所へ

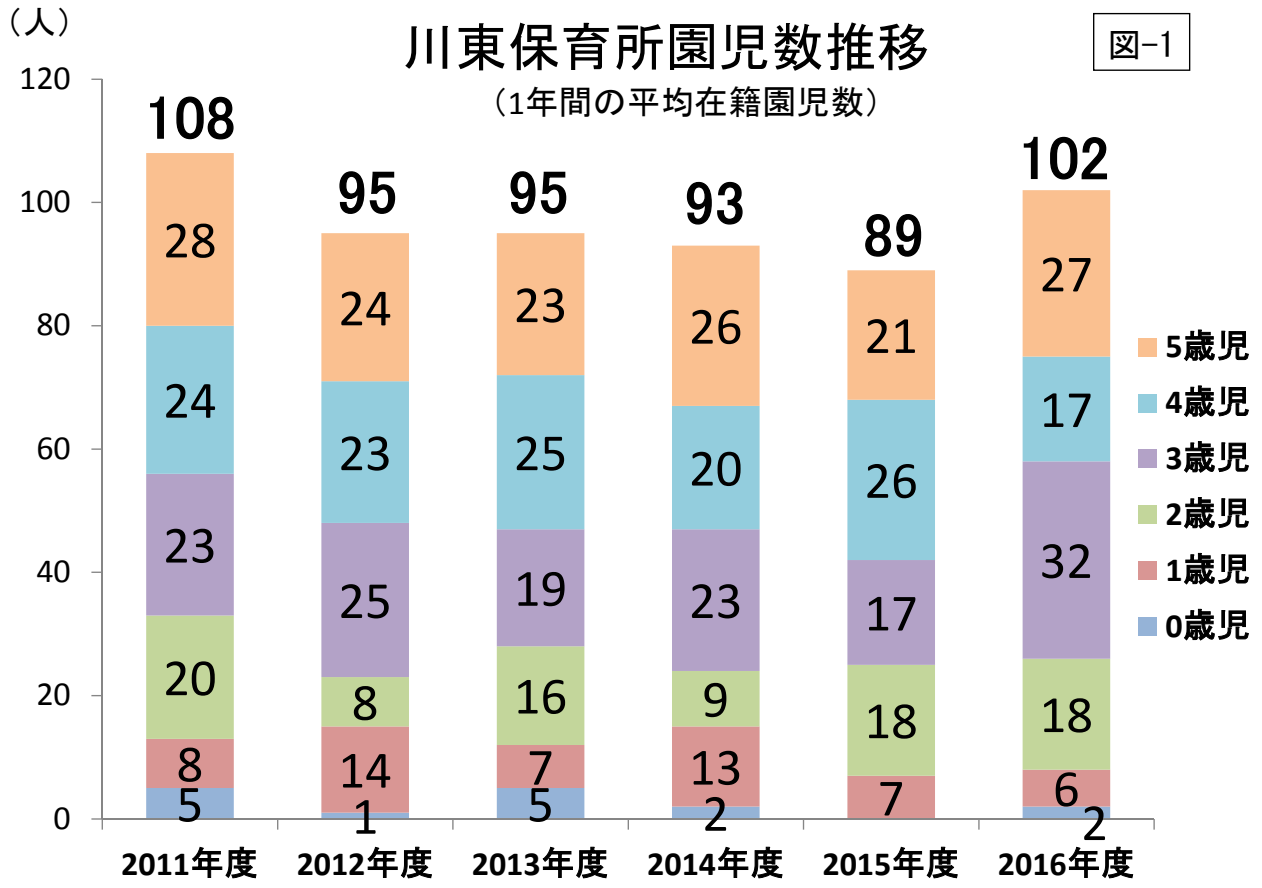
中規模園グループ

げんきいっぱい　かわひがしっこ
あんぜん　あんしん　あい・えす・えす！

1　概要（職員と園児数）
2　保育所を取り巻く環境
3　ケガの状況
4　ケガの発生状況の分析
5　８つの指標に基づいた取組
6　成果・課題と今後にむけて

1　概要（職員と園児数）

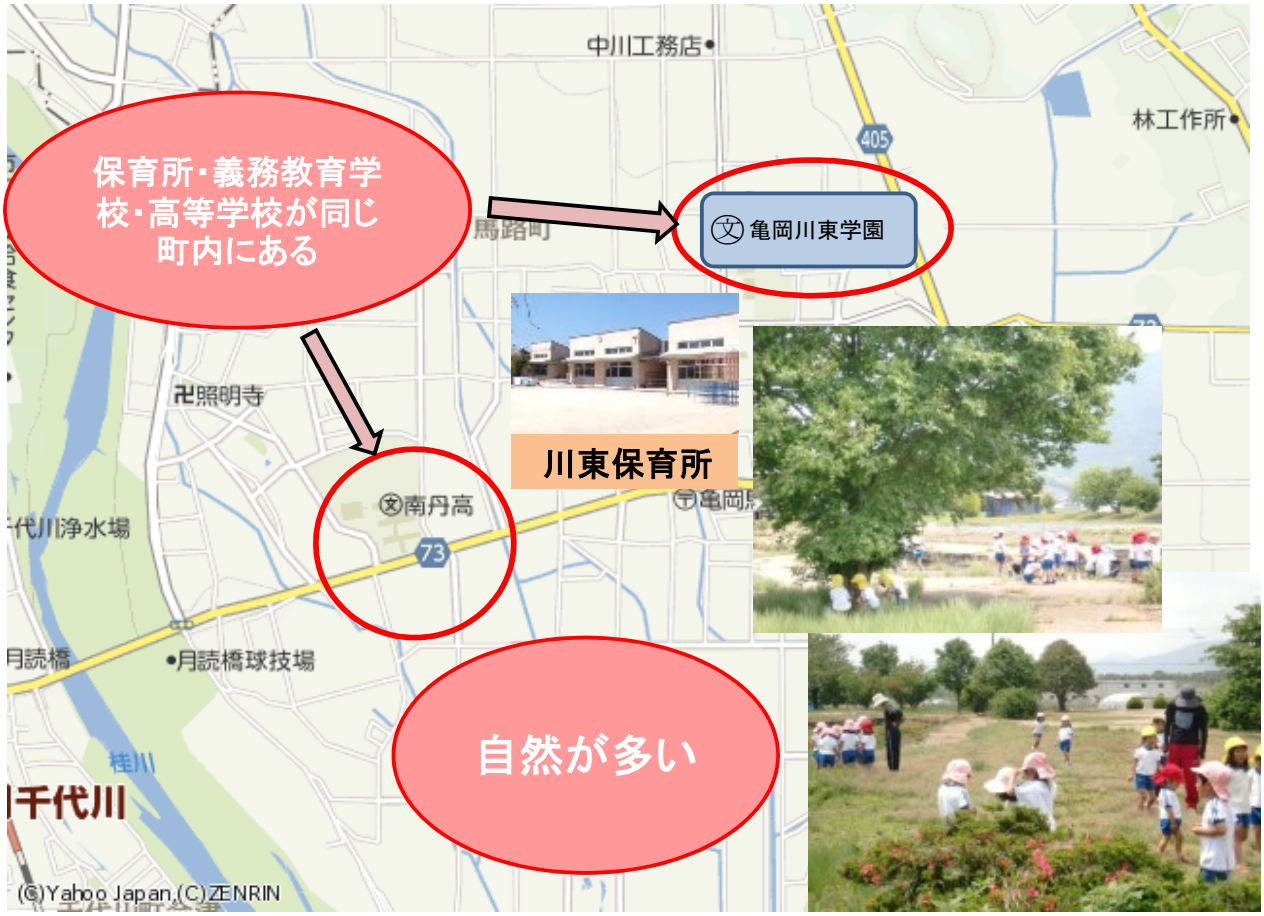
昭和32年（1957年）　設立
創立61年目
現在　園児数105人　0歳児－　3人　1歳児－12人　2歳児－12人
　　3歳児－27人　4歳児－33人　5歳児－18人
　　職員47人　　（2017年10月現在）



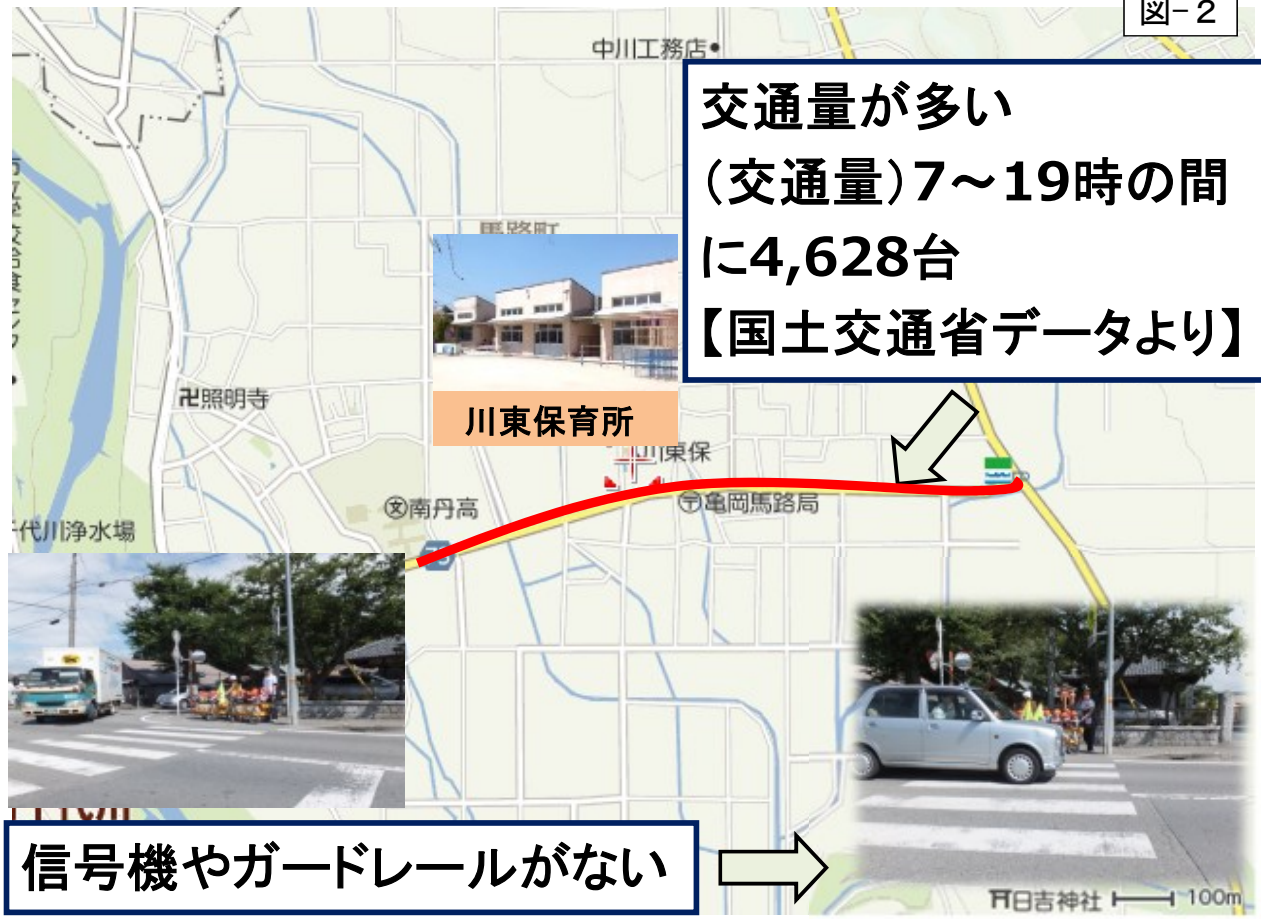
出典：川東保育所データ（2011．4～2017．3）

2　保育所を取り巻く環境

川東保育所



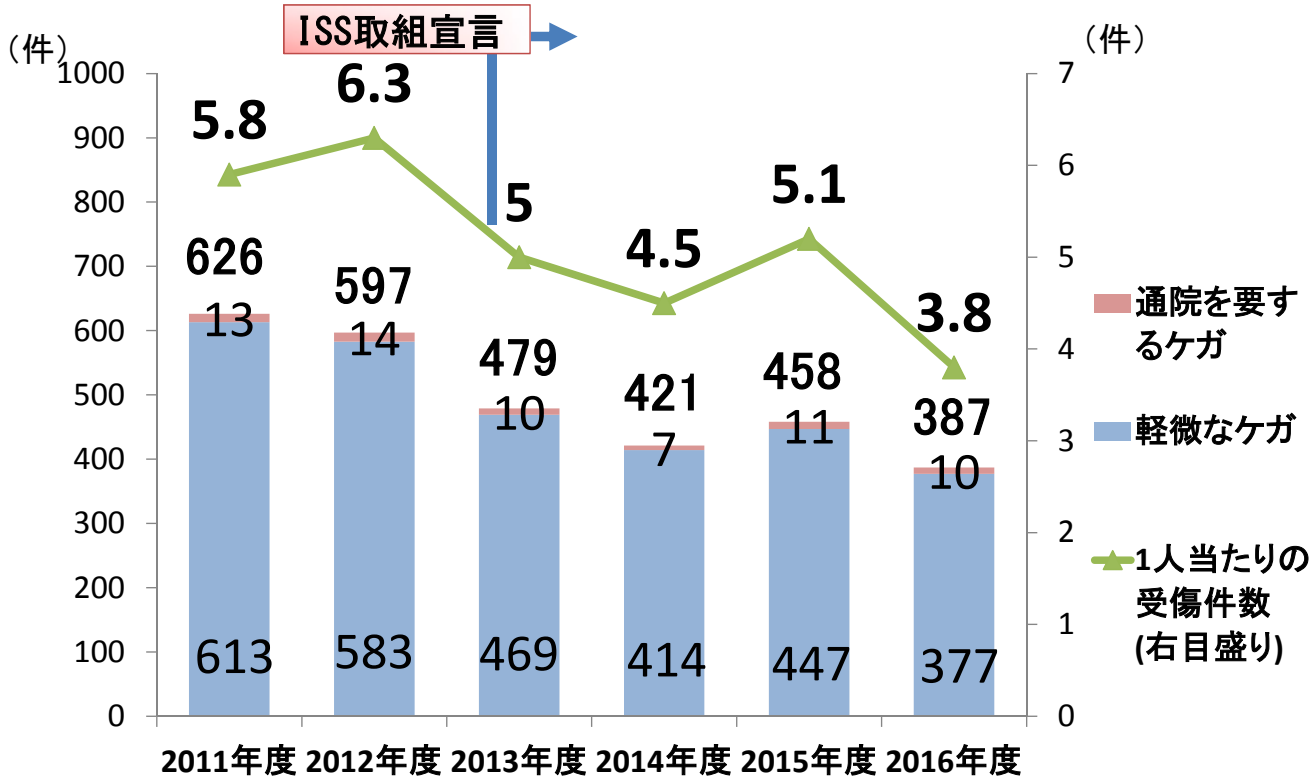
図－２



３　ケガの状況

園内での受傷件数

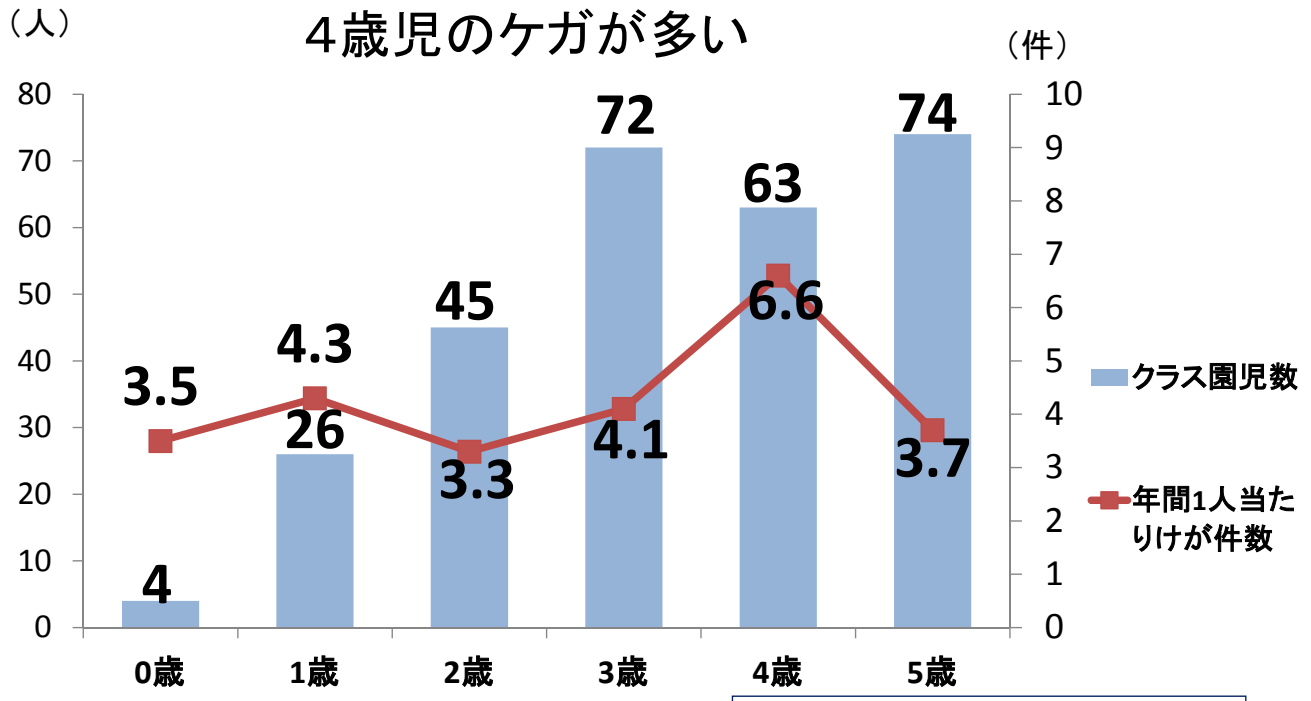
図－３



出典：川東保育所外傷データ
（2011年度～2016年度）

園内における年齢別発生率

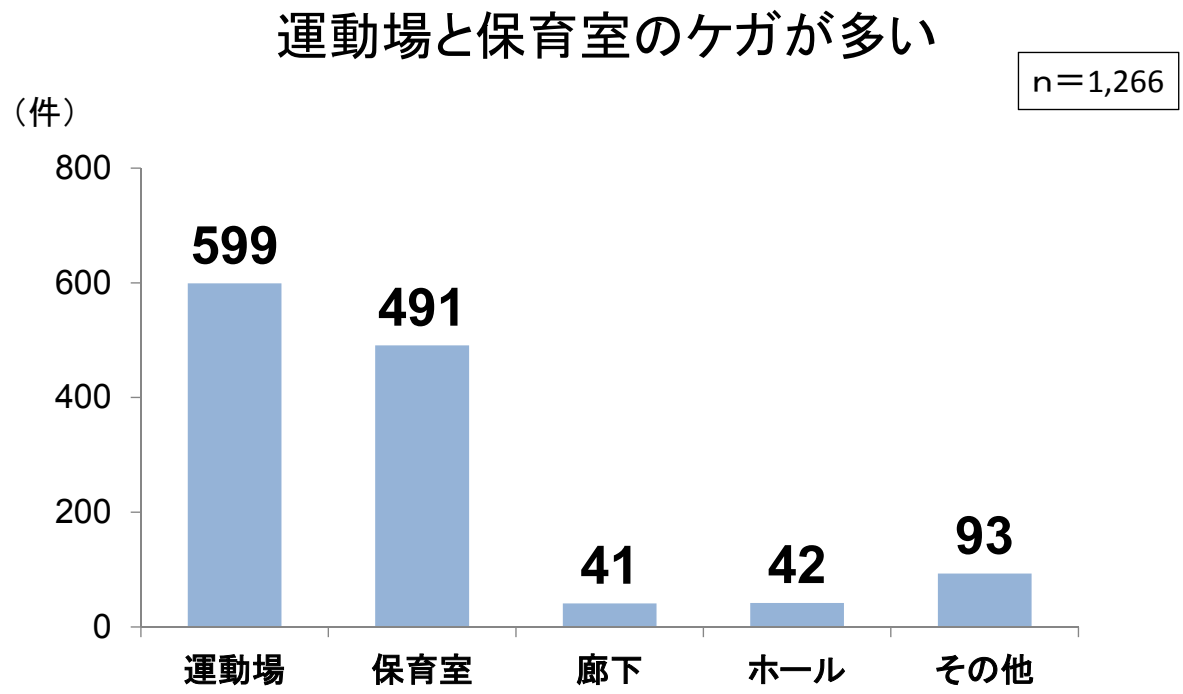
図－４



出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

園内における場所別ケガ発生件数

図－５

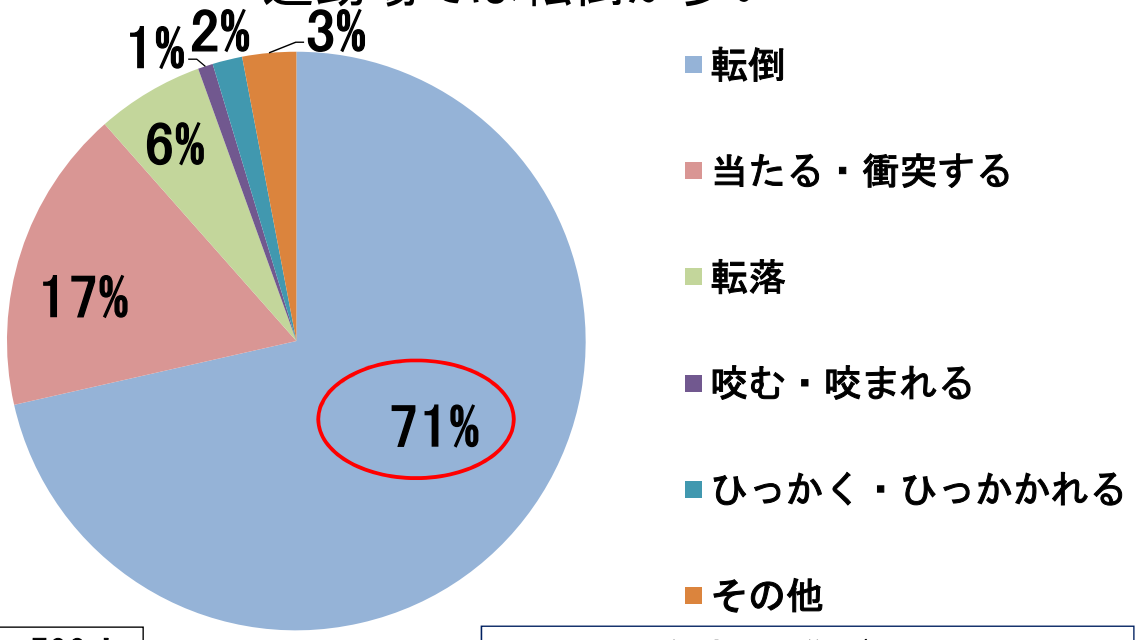


出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

運動場のケガの直接機転

図－６

運動場では転倒が多い



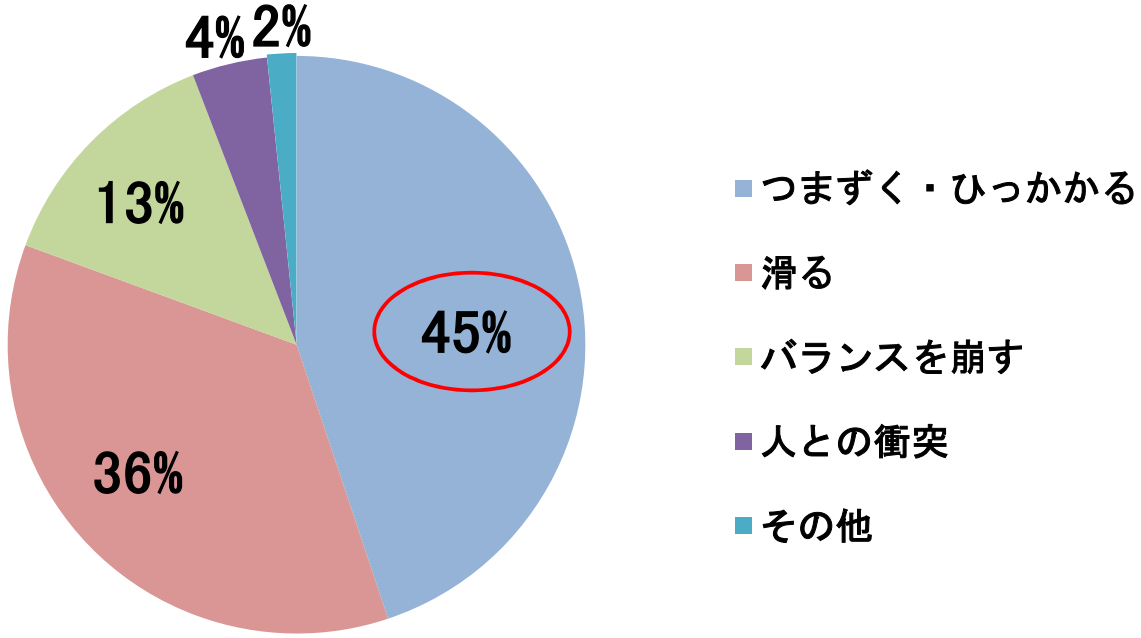
n＝599人

出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

運動場の転倒によるケガの間接機転

図－７

運動場の転倒は、「つまずく・ひっかかる」「滑る」が多い



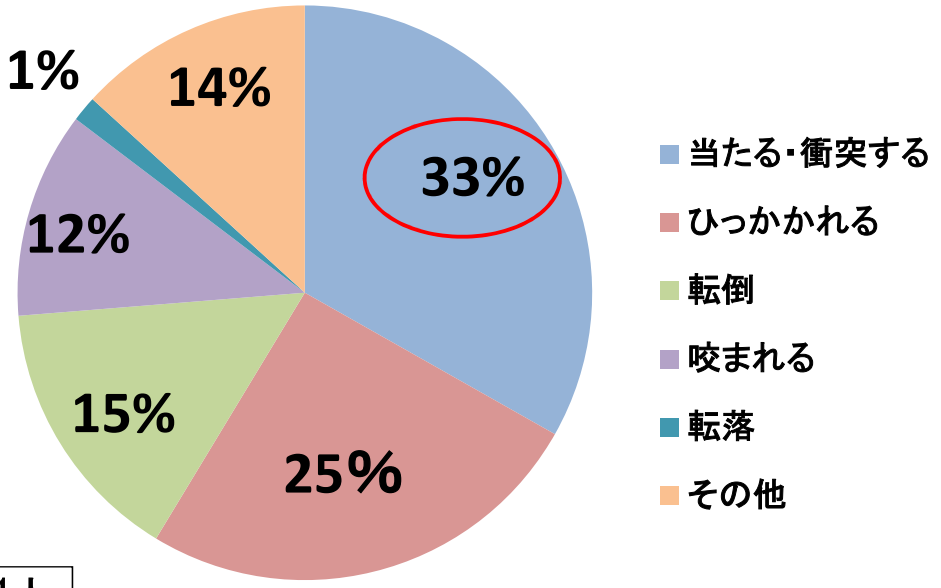
n＝428人

出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

保育室のケガの直接機転

保育室では「当たる・衝突する」が多い

図－８



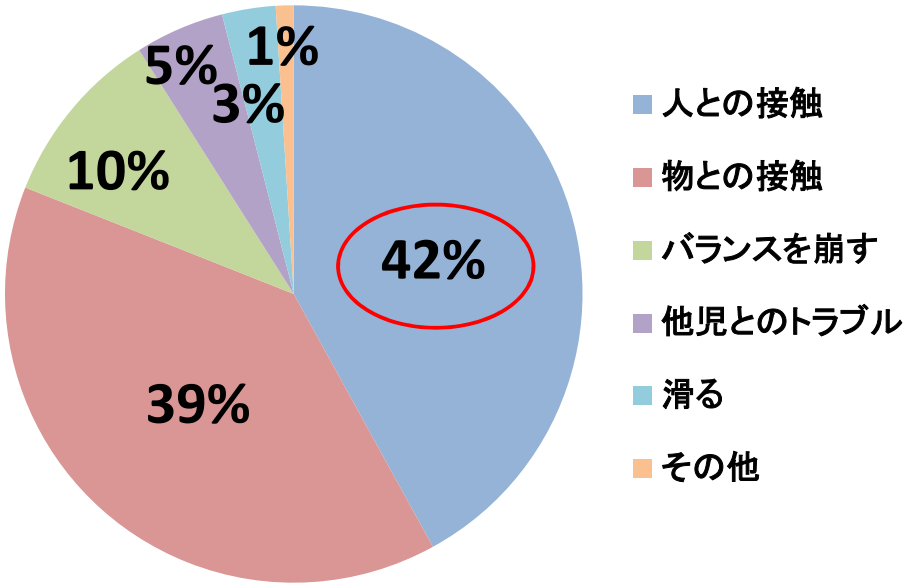
n＝491人

出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

保育室のケガの間接機転

図－９

保育室での「当たる・衝突」は、不注意による
「人との接触」「物との接触」のケガが多い



出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

４　ケガの発生状況の分析

場　所		課　題
園内	園舎内	・保育室での当たる・衝突のケガが多い。（図−8）
	園舎外	・運動場での転倒のケガが多い。（図−6）
園外		・保育所前の道路の交通量が多い。（図−2）

５　８つの指標に基づいた取組

指標１　協働を基盤とした、安全向上に取り組む運営体制がある

園内の体制

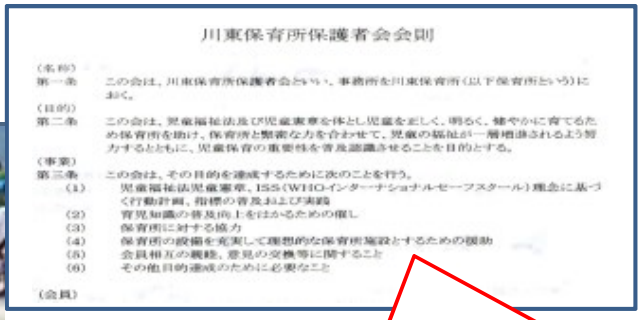
指標1

地域の体制

指標1

保護者と共にISS

親子で避難訓練



川東保育所保護者会会則

（名称）
第一条　この会は、川東保育所保護者会という。事務所を川東保育所（以下保育所という）におく。

（目的）
第二条　この会は、児童福祉法及び児童憲章を体とし児童をおしく、明るく、健やかに育てるための保育所を助け、保育所と緊密な力を合わせて、児童の福祉が一層増進されるよう努力するとともに、児童保育の重要性を普及認識させることを目的とする。

（事業）
第三条　この会は、その目的を達成するために次のことを行う。
(1)　児童福祉法児童憲章、ISS（WHO-インターナショナルセーフスクール）理念に基づく行動計画、指標の普及および実践
(2)　育児知識の普及向上をはかるための催し
(3)　保育所に対する協力
(4)　保育所の設備を充実して理想的な保育所施設とするための援助
(5)　会員相互の親睦、意見の交換等に関すること
(6)　その他目的の達成のために必要なこと

（会員）

ISSの理念に基づく行動計画、指標の普及および実践することを　保護者会会則に明記

ISSの取組みを園内に掲示

ISSの取組みの様子をスライドで見ていただきました

指標1　地域と共にISS

亀岡川東学園の交通教室に参加

指標3　すべての性別、年齢、環境をカバーする長期・継続的な予防活動をしていること

表－１　取組の全体（１.体づくり　２.安全教育　３.環境改善）

		園児	職員	保護者・地域
園内	園舎内	１－１　１－８　２－１　２－９　２－16　３－１ １－２　１－９　２－２　２－10　２－17　３－２ １－４　２－３　２－11　３－５ １－５　２－４　２－12　３－６ １－６　２－５　２－14　３－７ １－７　２－６　２－15	１－１　２－１　２－９　３－１ １－２　２－２　２－10　３－５ １－４　２－３　２－11　３－６ １－５　２－４　２－14　３－７ １－７　２－５　２－16 １－９　２－６　２－17	１－６　２－５　２－14　３－１ １－７　２－６　２－15　３－５ ２－９　２－17　３－６ ２－10　３－７ ２－12
	園舎外	１－１　２－１　２－８　２－16　３－１ １－２　２－２　２－９　２－17　３－２ １－４　２－３　２－10　３－３ １－５　２－４　２－11　３－４ １－６　２－５　２－12　３－５ １－７　２－６　２－14　３－６ １－９　２－７　２－15　３－８	１－１　２－１　２－８　３－１ １－２　２－２　２－９　３－２ １－４　２－３　２－10　３－３ １－５　２－４　２－11　３－４ １－７　２－５　２－14　３－５ １－９　２－６　２－16　３－６ ２－17　３－８	１－６　２－５　２－15　３－１ １－７　２－６　２－17　３－２ ２－８　３－３ ２－９　３－４ ２－10　３－５ ２－12　３－６ ２－14　３－８
園外	家庭	１－６　２－６　２－11 ２－９　２－15 ２－10　２－17	２－９ ２－10 ２－11 ２－17	１－６　２－５　２－11 ２－６　２－13 ２－９　２－15 ２－10　２－17
	地域	１－３　２－１　２－11　３－１ ２－５　２－12　３－２ ２－７　２－14　３－３ ２－８　２－15　３－４ ２－９　２－17　３－６ ２－10　３－８	１－３　２－１　２－10　３－１ ２－５　２－11　３－２ ２－７　２－12　３－３ ２－８　２－14　３－４ ２－９　２－17　３－６ ３－８	１－３　２－５　２－11　３－１ １－６　２－７　２－12　３－２ ２－８　２－13　３－３ ２－９　２－14　３－４ ２－10　２－15　３－６ ２－17　３－８

（※数値はプログラム番号）

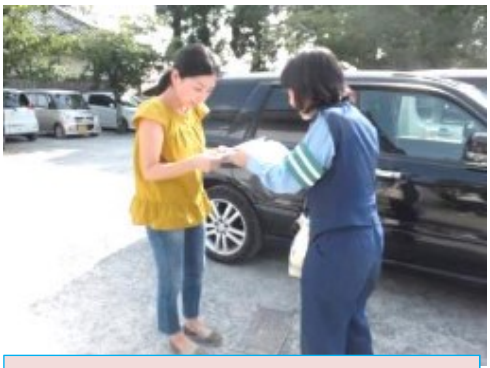
指標4　ハイリスクのグループ・環境及び弱者グループを対象としたプログラムがある

課題：保育所の前の道は交通量が多い（環境）

設定理由	・登所、降所時や園外保育時に利用している ・交通量が他の道路に比べて多いため、事故のリスクが大きい ・信号機やガードレールがない
対策内容	・送迎時の駐車場内の安全確認 ・地域の方や駐在所への見守り依頼 ・園外保育時の交通指導 ・交通安全教室、安全集会の実施 ・安全を呼びかける表示の設置やポスターの掲示・おたよりの発行 ・保護者、地域とともに環境改善の実施
現在の状況	・ケガや事故は一件も起こっていない

指標4　**駐車場での安全確認**

登降所時に職員が子どもたちと保護者の安全を見守ります



警察官による安全指導も行っています

活動実績

毎日

指標4

地域の方の見守り

園外活動時には、地域の方々に見守られています

園外活動時の交通指導

交通教室での学びを園外活動で活かします

活動実績

地域の方の見守り	年間 約 ５回
園外活動時の交通指導	年間 約２５回

指標4

交通安全教室の開催

「事故0体操」の実施

亀岡警察署交通課
馬路駐在所
地域交通安全活動推進委員の
協力を得ています

活動実績

２０１４年度	２回
２０１５年度	２回
２０１６年度	２回

指標4

新規

『ひまわり絆プロジェクト事業』に参加

交通事故防止を啓発するための
事業に参加しています

活動実績

２０１６年度　１回
２０１７年度　１回

指標4

新規

マクドナルド社会貢献事業

『ドナルド・アピアランス』に参加

『命を守ること』をテーマに
交通安全について学びました

活動実績

２０１６年度　１回
２０１７年度　１回

指標4

ISS集会の実施

『登降所の安全』について考え合いました

活動実績

２０１４年度	４回
２０１５年度	４回
２０１６年度	４回

指標4

交通安全ポスター・おたよりによる啓発

新規

子どもたちが作成した『交通安全ポスター』

２０１６年度１回

保護者啓発のおたより

活動実績

２０１５年度	12回
２０１６年度	17回
２０１７年度（7月現在）	6回

指標4

環境改善　活動実績

新規

＊飛び出し注意の表示　１カ所
＊転落防止の為の溝ぶた設置　１カ所

飛び出し注意を呼びかける表示を
保護者会よりいただき設置しました

馬路町自治会と地域の方
の協力により、溝ぶたが
設置されました

指標4

環境改善　活動実績

新規

＊道路表示の書き直し　３カ所
＊道路標識の設置　２カ所

前

道路表示
（横断歩道）の
書き直し

後

前

道路標識
（速度注意）の
設置

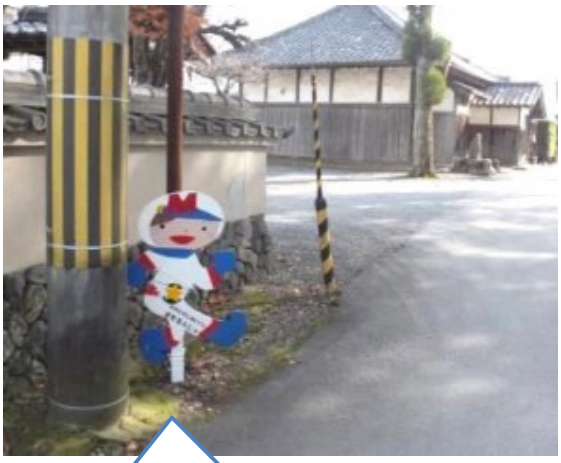
後

指標4 **環境改善**

活動実績

＊安全ぼうやの設置
３カ所

新規



川東保育所オリジナルキャラクター
『まもるんじゃー』の
安全ぼうや

自治会と馬路駐在所の協力で作成し、
園舎周辺に設置。
ドライバーに注意を呼びかけています。

指標5　入手及び活用可能な根拠に基づいたプログラムを実施していること

運動場での転倒のケガが多い
保育室での当たる・衝突によるケガが多い

発生要因…・運動場、コンクリート面の砂や段差によって滑る、つまずくなどで起こっていることが多い
・危険予知力、対処力などが未熟さから、人や物に接触しケガにつながることが多い

予防対象	課題	対策
運動場での転倒のケガ 保育室での当たる、衝突によるケガ	①園児の安全意識の向上 ②環境改善	園内安全点検プログラム ・まもるんじゃーチェック ・まもるんじゃーマップ ・ＩＳＳ集会 ・約束まもるんじゃーの活動 ・給食まもるんじゃーの活動

指標5

課題解決に向けた取組

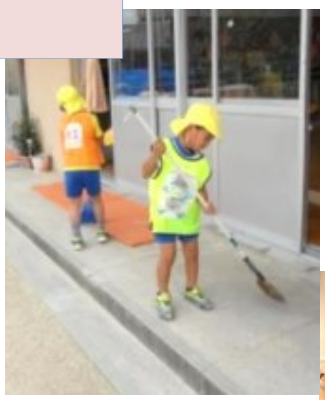
園内の安全点検プログラム

予防対象	・運動場での転倒のケガ ・保育室での当たる・衝突によるケガ
課題	園児の安全意識の向上と環境改善
対象者	園児・職員
概要	●まもるんじゃーチェックの実施 園児（まもるんじゃー）が園内を点検し、危険箇所を報告する ●まもるんじゃーマップの作成 園内危険箇所マップを作成し、ケガにつながるような場所・行動を確認する ●ISS集会の実施 安全・安心で過ごすための方法や環境づくりについて考える ●約束まもるんじゃーと給食まもるんじゃーの実施 安全安心に過ごすための約束や、食に関する情報を伝える
改善点	まもるんじゃーの活動内容、実施回数の充実

指標5

まもるんじゃーチェック

砂があると滑るのでほうきで掃除をしています



活動実績

２０１４年度	２２回
２０１５年度	２２回
２０１６年度	２２回
２０１７年度	６回（７月現在）

チェックしたことを報告します

割れたり欠けたりしている玩具がないかをチェックしています

指標5

まもるんじゃーマップ（園内危険箇所マップ）

活動実績

２０１４年度	１回
２０１５年度	１回
２０１６年度	１回
２０１７年度	１回

子どもたちが運動場で注意する場所を調べました

指標5

ＩＳＳ集会

活動実績

２０１５年度	２回
２０１６年度	２回
２０１７年度	１回（７月現在）

５歳児のまもるんじゃーが『安全に遊ぶための約束』をみんなの前で報告しています

指標5

追加

約束まもるんじゃー

安全で安心に過ごすための約束を伝えます

追加

給食まもるんじゃー

食べることが体づくりにつながることを伝えます

活動実績

２０１５年度	１１２回
２０１６年度	２９０回
２０１７年度	９３回（７月現在）

指標7　予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組みがあること

園内の安全点検プログラム

短期的指標

【指標】
まもるんじゃーの活動回数
【測定方法】
まもるんじゃー活動報告書

中期的指標

【指標】
まもるんじゃーが点検・改善をした件数
【測定方法】
まもるんじゃー活動報告書

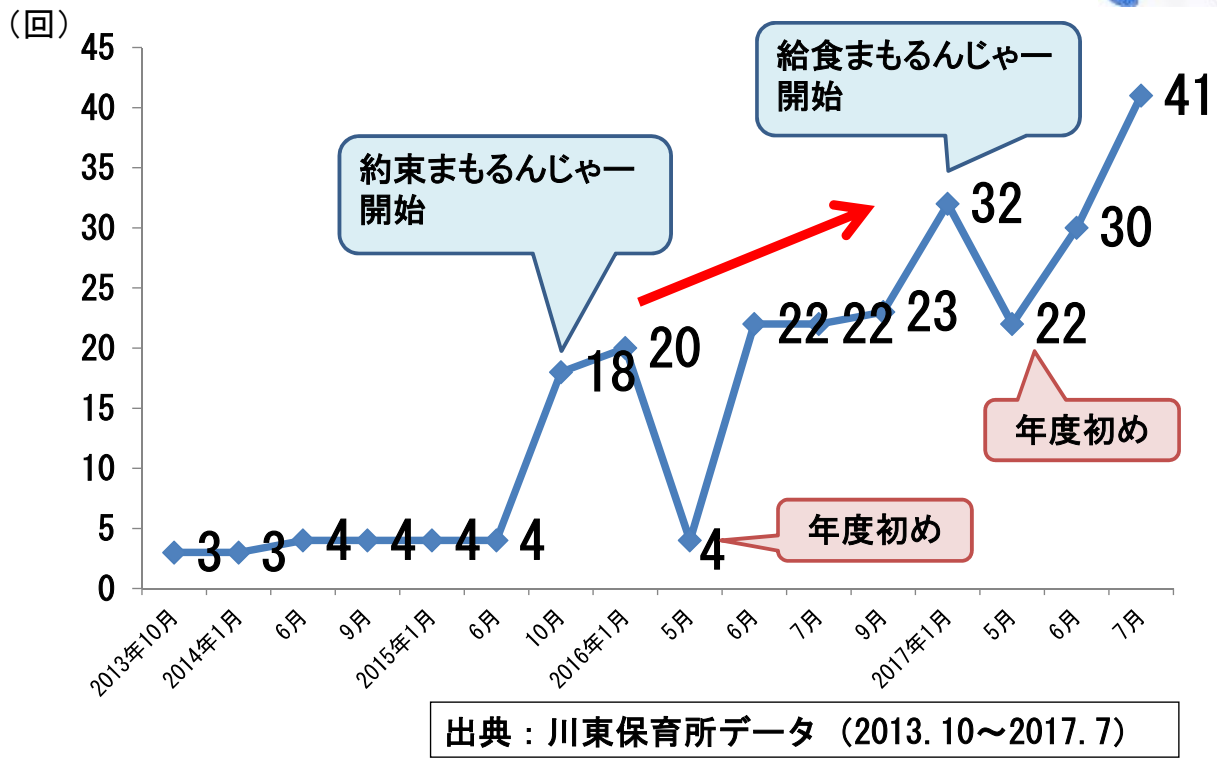
長期的指標

【指標】
運動場での転倒によるケガ、保育室による当たる・衝突によるケガの件数
【測定方法】
川東保育所外傷データ

指標7

まもるんじゃーの活動実施回数

図-10



出典：川東保育所データ（2013.10～2017.7）

指標7

まもるんじゃーチェック

まもるんじゃーが点検・改善した箇所（運動場）

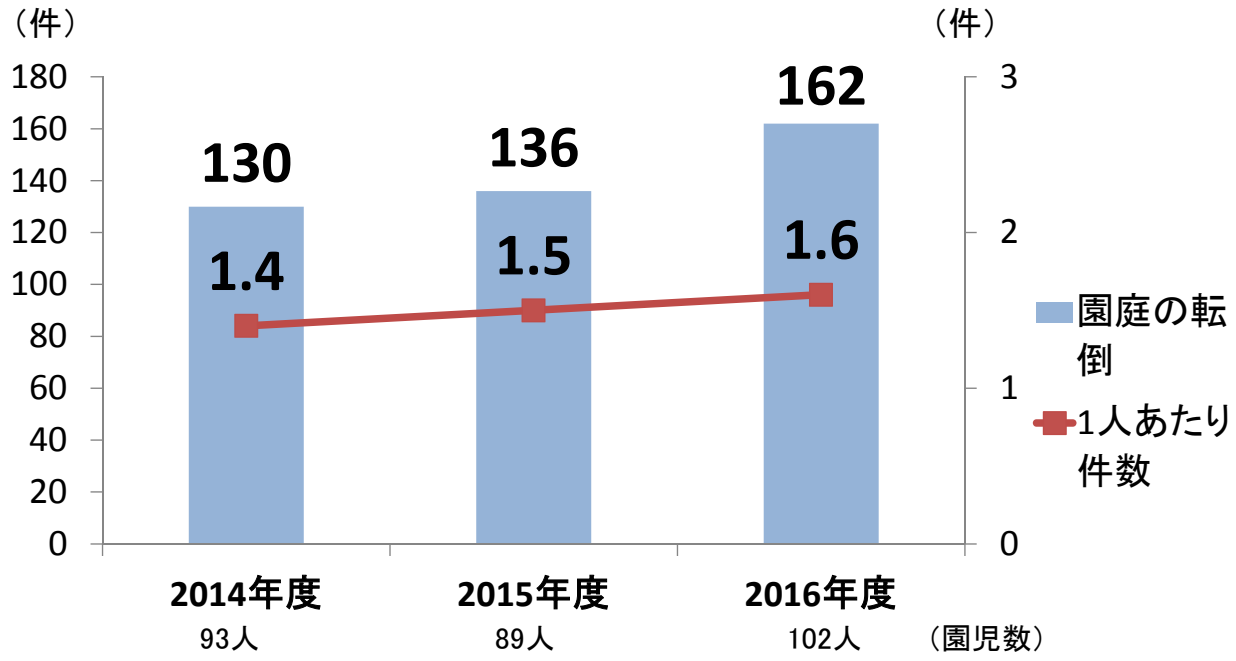
キックボード　砂場の穴　砂場の上の藤棚　穴掘り蜂の巣　雲梯下の安全マットの砂
なかよしハウスの中の砂　山の吊り橋　ジャングルジムの止め具　石拾い

2014年～2016年　延べ41か所

指標7 **運動場での転倒のケガの件数**

図-11

運動場の転倒のケガは横ばい

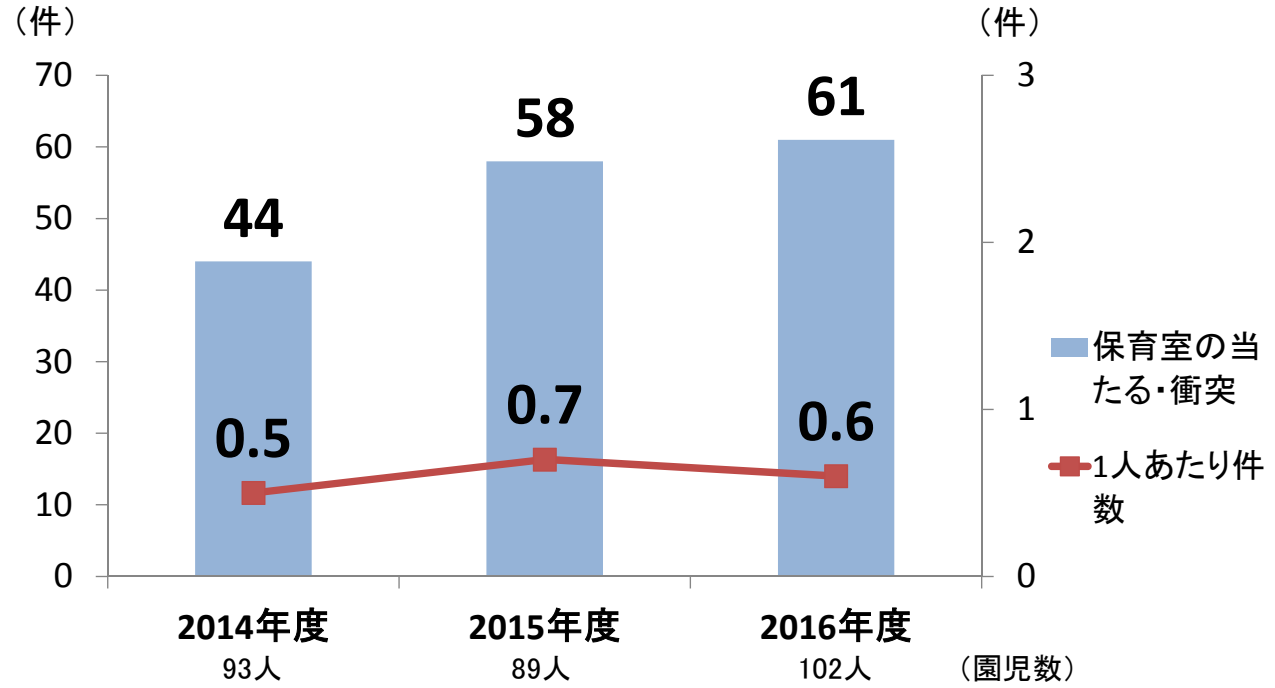


出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

指標7 **保育室での当たる・衝突によるケガの件数**

図-12

保育室での当たる･衝突のケガは横ばい



出典：川東保育所外傷データ
（2014年度～2016年度）

６　成果・課題と今後にむけて

気づきや変化

- 園児がケガをした時、自らケガの直接機転 に気づけるようになっている
- 園児がISSの活動に日常的に取組み、それを継承できてい る
- 園児が活動の様子を家庭に伝えることで、保護者にも関心をもってもらえるようになった
- 全職員がISSの取組に関わる仕組みができた
- ISSの啓発により、保護者・地域の理解が得られ、環境改善につながった

現在の課題

- 運動場、保育室でのケガが大きく減少していない
- 職員・保護者にとって、取組のビフォーアフターが見えにくくなっている
- 子ども・保護者の危険に対する意識に温度差がある

今後の計画

- 体作り・運動あそびプログラムの見直しと内容の充実
- 全職員がISSに関わる活動の見直しと、保護者への情報発信の工夫
- 「ヒヤリハット」から身近な危険について考える機会をもつ
- ISSの取組および保護者・地域との連携の継承

本日はありがとうございました!

亀岡市立川東保育所